

令和7年度 北区立滝野川紅葉中学校 学校経営計画

北区立滝野川紅葉中学校

校長 蓮田 進

学校経営の基本的な考え方

生徒の自尊感情・自己肯定感を育む学校づくり

北区教育目標	3つの柱	北区教育ビジョン2024 取組の方向
「教育先進都市・北区」の教育は、教育基本法に則り、人間尊重の精神を基調とする。 地域社会の一員としての自覚のもと、ふるさと北区に誇りをもち、自らの力で人生を切り拓き、広く国際社会に貢献することのできる、心身ともに健康で文化的な資質をもつ人間を育成することを目指す。	I 子どもの可能性を最大限に引き出す学びの基盤づくり	1 幼児期からの育ち・学びを支える 2 確かな学力を育成する 3 豊かな心を育む 4 健やかな心を育む 5 誰一人取り残さず、共に学び、成長する力を育てる 6 グローバル社会で活躍できる人材を育てる 7 主体的に社会の形成に参画するための多様な力を伸ばす
	II 豊かで質の高い教育環境づくり	8 学校の教育力を高める 9 教育DXの推進 10 質の高い学校教育を支える施設設備等を整備する
「まなび（個の成長）・さえ（協働と貢献）・つなぐ（継承と循環）」	III 多様な主体との連携・協働による学びの絆づくり	1 1 家庭・地域等との連携・協働による地域教育力の向上を図る 2 2 生涯学び、活躍できる環境づくりを充実する 3 3 伝統、文化、芸術を守り、継承する

1 目指す学校

「教育先進都市・北区」のさらなる充実・発展を目指すために策定する、『北区教育ビジョン2024』及び本校の教育目標を踏まえ、生徒・保護者の願いや地域の期待に応える学校を目指す。

教育目標	育てたい生徒像	1 学び考える人 【知】 2 優しく心豊かな人 【徳】 3 鍛え努力する人 【体】
目指す学校像	1 安心感・清潔感のある学校 2 学ぶことが楽しい学校 3 安全・安心な学校 4 家庭や地域社会の方に親しみをもたれる学校 5 教職員にとって、働きがいのある学校	
教目 師指 像す	「子どもの力を伸ばし、高めようとする教師」 1 深い愛情と厳しさを併せ持つ教師 2 わかる授業を通して、知識欲を喚起する教師 3 生徒、保護者、地域から信頼される教職員	

2 中期的目標と方策

現行の学習指導要領の根拠となった中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校。高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策等について」（平成28年12月）の趣旨を踏まえ、今後数年間の目標を掲げます。

中 期 目 標	1 生きて働く「知識・技能」の習得 2 臨機応変に対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成 3 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の醸成	
方 策	知 ○基礎・基本を重視した分かる喜び、できる楽しさを味わわせる授業の実施 ○個別最適な学びと協働的な学びの実現 ○タブレット端末を活用した授業改善 ○家庭学習の充実	
	徳 ○人権教育の推進 ○「特別の教科 道徳」の授業の充実 ○学級活動、学校行事、生徒会活動、部活動を通じた規範意識と集団帰属意識の向上 ○家庭、地域、関係諸機関との連携	
	体 ○体育健康教育の充実 ○テーマ性ある食育の推進 ○安全教育・防災教育の推進	

3 今年度の取り組み目標と方策

短期目標

教職員の人権感覚を高める

- 1 「きたコン」を活用した協働的な学びの場の創出
- 2 生徒が主体的に参画する特別活動の推進
- 3 多様性を認め合える学年・学級経営
- 4 校務事務の効率化

◎ 基本方針を具現化し目指す学校像に迫る取組事項

正義が勝つ、悪は減びる

(1) 安心感・清潔感のある学校

- ① 人権尊重の精神のもと「いじめの根絶」と「体罰や不適切な指導の否定」を徹底し、教職員と生徒、生徒と生徒のコミュニケーションを大切にし、互いを尊重し合う好ましい人間関係を築く。その上で生徒が安心して通える学校、一生懸命に取り組む生徒が嫌な思いをしない学校作りに注力する。
- ② 全教育活動を通して人権意識と規範意識を高めるとともに、中学生として身につけるべき社会規範や善悪の判断力を確実に身につけさせる。
- ③ 道徳の授業などを充実させ、道徳的実践力を高めるとともに、自他の生命尊重、人権尊重、善悪の判断などの規範意識を育て、社会性のある行動が取れるように指導する。
- ④ 教育環境を整える面から修理・修繕など行うとともに、日常の言葉遣いの指導を通して言語環境を整える。

(2) 学ぶことが楽しい学校

- ① 授業の狙いを明確にし、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、一人一人が主体的に学び、思考力・判断力・表現力などが育成されるよう「ねらい」の明確化を図る。
- ② 部活動ガイドラインに沿いながら、活気のある学校とする。
- ③ 一人一台端末などのICT機器を積極的に活用し、指導方法の工夫・改善・充実を図る。

(3) 安全・安心な学校

- ① 全職員が校内外の施設設備や危険箇所を気に配り、危険箇所の早期発見、早期改修を基本とした安全対策を推進する。
- ② 健康安全の指導を計画的に行い、生命尊重・事故防止・食育・健康の保持増進を図り、健康教育・食育を進める。
- ③ 地震、火災などに対応した避難訓練、交通安全、不審者対応などの安全教育の充実を図る。

(4) 家庭や地域社会との連携を図る学校

- ① 学校ホームページ、学校だよりなど、多様な情報発信を通して地域に対する学校の責任を果たす。
- ② 家庭教育における課題には、保護者の困り感を共有し、共に改善を図る関係を構築するよう、組織として対応する。
- ③ 特別な支援を要する生徒には、保護者・関係機関と連携し、法に基づき「合理的配慮」を検討するとともに、SCや関連機関と連携して教育相談の充実に努める。
- ④ 命の大切さ、健康・安全に関する理解の徹底を図り、健康の増進や体力の向上に関心をもって生活することを指導する。また、セーフティ教室・交通安全・や災害時を想定した安全指導の内容の充実を図る。薬物乱用防止・ネット犯罪やIT関連の事故防止などについても計画的・継続的に指導を行う。

(5) 教職員にとって、働きがいのある学校

- ① 一人で抱え込むことなく、「報告・連絡・相談」を密にし協力し合う。
- ② 「働き方改革」の趣旨に則り、校務分掌組織を意識した校務運営を通し、各自が自らの職務を全うする。

「目指す教師像」の求めるもの

(1) 生徒に対する深い愛情と、指導者としての厳しさを併せ持つ教師

- ① 子どもの良さを見つけ、伸ばす教師
- ② 体罰を否定し、他を納得させる自分なりの理論をもち、生徒の心は受け止めながらも、ダメなものはダメと納得させることのできる教師
- ③ 生徒の先々の変化を予測し、生徒の小さな一歩を見逃さず適切な指導を怠らない教師

(2) プロとしての自覚を持ち、常に自己研鑽に務める教職員

- ① 子どもに分かりやすい授業を工夫する教師
- ② 組織の一員として職務に励む教職員

(3) 子ども、保護者、地域から信頼される教職員

- ① 学校に対する期待と責任を自覚し、全力で生徒の教育に当たる教職員
- ② 明るく朗らかで、親しみやすい教職員